

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

四国のスマートな家

グループの名称

四国のスマートな家を考える会

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名	菊池 武志	代表者印
代表者所属先	フモト建設株式会社	
代表者所在地	愛媛県松山市土居町737番地3	
代表者電話番号	089-957-4141	

(グループ事務局)

事務局事業者名	パナソニック リビング中四国株式会社	
事務局担当者名	平井 英治	印
事務局郵便番号	790-0964	
事務局所在地	愛媛県松山市中村一丁目2-1	
事務局電話番号	089-934-8409	
事務局FAX	089-934-8417	
事務局担当者E-mail	hirai.ej@jp.panasonic.com	

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		75	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	75	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	7	戸
		申請が未確定(上限100万円)		42	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	42	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	5	戸
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		23	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	23	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸
		申請が未確定(上限100万円)		30	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	30	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		8	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
		申請が未確定(上限100万円)		8	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		8	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		18	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	18	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸	
	申請が未確定(上限165万円)		10	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸	
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	1棟		
			300㎡		
		申請が未確定	2棟		
			600㎡		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	<p>1、採択時に着工可能な物件を有する施工事業者に1棟ずつ配分します。</p> <p>2、一定期間経過後に同様に配分します。</p> <p>3、配分時に要望数が採択残を上回った場合は抽選にて配分します。</p>				
	E. 平成28年度の執行状況(必須)				
	<p>長寿命型(長期優良住宅)</p> <p>当初予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>補正予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>高度省エネ型(認定低炭素住宅)</p> <p>当初予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>補正予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)</p> <p>当初予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>補正予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)</p> <p>当初予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>補正予算 採択戸数 戸 交付申請戸数 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 戸</p> <p>優良建築物型</p> <p>当初予算 採択棟数 棟 交付申請戸数 棟 完了実績(竣工予定含む)棟数 戸</p> <p>当初予算 採択床面積 ㎡ 交付申請床面積 ㎡ 完了実績(竣工予定含む)床面積 ㎡</p>				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 四国のスマートな家	(地域型住宅供給対象地域) 四国地区
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 四国のスマートな家を考える会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・冬のヒートショックによる家庭内事故を予防するため、断熱性能並びに省エネ性能はH28年基準を最低基準とした住宅とします。 ・パンプ要素を考慮すると共に、全棟外皮計算を行い、数値化により性能を担保します。 ・フィルターの設置等、室内空気環境に配慮した住宅とします。 ・日照時間の比較的に長いエリアであり太陽光発電や蓄電池、HEMSなど光熱費削減に寄与する設備機器を推奨します。 ・長寿寿命型に関しては『耐震等級2』を最低基準とし、可能な限り『耐震等級3』を推奨する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・日照を考慮した木造住宅とします。 ・軸組み工法ならびに2x4工法とします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・建設地の町並みや景観ガイドライン等に基づき、地域に調和したデザインとするよう配慮します。 ・日射の多い地域では、庇や軒の奥行きを深くする等パンプに配慮します。	◎
④①～③の背景	・四国地方は冬季のヒートショックによる家庭内事故が多く発生しており、対策が求められています。 ・地震災害のみならず台風の襲来による災害が発生しており、耐震性能の向上と共に災害時に生活の持続性を向上させる機器の設置が求められています。 ・花粉・PM2.5・黄砂などの飛来による健康被害が増加しており、室内の空気環境に対する配慮が求められています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域型住宅普及計画を下記の通りとします。 ・長期優良住宅 2017年度 目標 30% 2020年度 目標:50% ・ゼロエネルギー住宅 2017年度 目標 10% 2020年度 目標:50% ・BELS評価取得 2017年度 目標 30% 2020年度 目標:100%	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 軸組み工法では構造部に用いる木材は、3.5寸角とします。 ※施主要望による場合には4寸可とします。 集成材についてはJAS認証品とします。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 資材については採用メーカーを定めスケールメリットでコストダウンを図ります。 ・下地材はF4☆を使用し、ハウスシック症候群に対策を講じます。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループとして標準仕様を提示し地域性をふまえ各構成員が標準仕様を設定する。	○
②-1 建材・資材調達のコラボ	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域特性も踏まえてグループ構成員で意見交換し調達の共同化をすすめる。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 専用発注書を作成し、事務合理化を行います。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 研修会を実施し合理化成功事例の共有を図る事により各構成員のレベルアップを図ります。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が開催計画を立てて実施します。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: それぞれの資材の施工マニュアルに沿った標準施工を実施します。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅瑕疵保険の検査前に自主検査を実施します。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 耐震性能を担保する為、許容応力度計算による構造計算を推奨します。 ・省エネ性能を施主様に理解していただきやすいようにBELS評価取得を推奨します。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・ファイナンシャルプランナーと提携し希望者には資金計画提案によるサポートを行います。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 四国のスマートな家	(地域型住宅供給対象地域) 四国地区
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 四国のスマートな家を考える会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴を建築主に公開し信頼向上を図ります。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・パナソニック㈱のリビングベル等の住宅履歴管理システムを活用します。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅引渡し時に該当サービス機関の説明を行い建築主が随時確認できるようにします。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・共通の維持管理計画書に基づき、点検、メンテナンスを行います。 ・地震、台風等災害発生時には臨時点検を行います。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画に基づく、定期点検時に必要があれば補修履歴を残します。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・該当サービス機関にて築主が随時確認できるようにします。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・引渡し時や、お手入れセミナー等を通じ日常の清掃とお手入れについて説明し建築主の維持管理に関する意識向上を図ります。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・イベント開催時に木工教室や床の傷補修等DIY体験会を実施する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が企画し、補助金や税制優遇の紹介を含め、リフォーム相談会を実施します。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅瑕疵保険法人など第三者による住宅診断・定期点検についての講習会を開催し、維持管理の対応向上を図ります。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅瑕疵担保保険法人の点検サービスを紹介し、活用を推奨します。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員をバックアップビルダーとして施主様に紹介し事業継承を図ります。 ・維持保全計画の共通化、住宅履歴管理の外部サービス活用により、引継ぎを容易にします。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅瑕疵担保保険法人とタイアップし、事例を学ぶ研修会を開催します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が設計構成員等と連携し物件毎に未経験工務店の支援を行います。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・各資材毎の施工マニュアルに沿った標準施工を実施します。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループで抽出した物件に関して設計構成員による中間検査を行います。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・年度初めに構成員毎に事業計画を策定、それに基づき需給計画を策定します。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・研修会の定期開催により施工構成員のレベルアップを図っていきます。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が合理化成功事例を発信しグループで共有します。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 15	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局にて地域毎の開催日程を把握、情報発信を行い、構成員に参加を促します。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 四国のスマートな家	(地域型住宅供給対象地域) 四国地区												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 四国のスマートな家を考える会	(結成年) 2017年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>1. 地域材は国内、国外の合法木材とします。 2. 地域材を主要構造部の過半に使用します。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がプレカット構成員より情報収集し、施工構成員に発信します。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が価格動向を収集し、構成員に発信しグループで共有します。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が構成員の物件状況を把握しプレカット構成員と共有します。</p>	◎												
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 坪</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 枚</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 枚</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>													
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建設地の街並み景観ガイドライン等に配慮した設計をする。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	○												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組														
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 四国のスマートな家	(地域型住宅供給対象地域) 四国地区
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 四国のスマートな家を考える会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p>		
<p>【高度省エネ型 (認定低炭素住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂サッシ等の採用を推奨し、省エネ基準以上の断熱性能を確保します。 また、省エネ設備機器の採用により一次エネルギー消費量の10%以上の削減を実現します。 低炭素措置については木造及び節水機器の採用とします。 <p>【高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂サッシ等の採用を推奨し、省エネ基準以上の断熱性能を確保します。 また、省エネ設備機器の採用により一次エネルギー消費量の10%以上の削減を実現します。 <p>【高度省エネ型 (ゼロ・エネルギー住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂サッシ等の採用を推奨し、UA値0.6以下の断熱性能を確保します。 一次エネルギー消費量削減率 太陽光除く20%削減 太陽光含む100%以上削減を目標とします。 間取りプラン等の工夫や高効率省エネ設備機器の採用により、太陽光発電に頼りすぎない、快適で健康に暮らせるゼロエネルギー住宅を目指します。 BELS評価を取得します。 <p>【優良建築物】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル建物法によりBELS評価を取得します。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。